鎌倉朝日新聞社
広告をお待ちしています
地域の活性化のためにも
TEL 0467(24)8553
FAX 0467(23)1205

お掃除サービス・家事お手伝いサービスなら
ダスキンメリーメイド鎌倉店
☆エアコンクリーニングなどのプロのおそうじ
ダスキンオークラサービスマスター
0120-3-82820
●ダスキンオークラトータルグリーン(造園と庭木の管理)も好評受付中です!!
ダスキンオークラ 検索
www.duskin-city.com

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
鎌倉に蘇える伝統の香り
香司 鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467-22-1081(代)
http://www.tenkundo.co.jp/

日蓮宗布教拠点の六角堂完成

宗祖生誕800年 鎌倉に

鎌倉市小町の日蓮聖人辻説法跡の隣接地に「鎌倉日蓮堂」と命名された御堂が完成し、昨年12月9日、落慶式が行われた。

宗教法人日蓮宗が2018年から鎌倉布教拠点建設検討委員会を開催して計画案を練り、2009年に取得済の面積約377㎡のこの土地で、昨年6月23日、地鎮祭を行った。

「日蓮聖人のことを広く知ってもらい、日蓮聖人と向き合える施設」というコンセプトのもと、日蓮聖人像を奉安する六角堂の参拝御堂を中心とする、備品庫とトイレを備えた展示ホールを建設。

12月9日の落慶式には、宗務総長の中川法政さんを筆頭に日蓮宗寺院の住職や関係者、建築家の椎名純さん、施工の松井建設関係者ら約50人が参列した。

授賞式では、設計者や施工者、日蓮像の制作にあたった身延山大学仏教学部特任教授・柳本伊佐雄さん、展示ホール中央の「南無妙法蓮華経」の木版お題目碑を寄贈した比企谷・妙本寺鈴木日敬貫首、六角堂の入り口正面に掲げた「立正安国」の扁額を寄贈した神奈川県第2部宗務所楠山泰道さんに感謝状が贈られた。

辻説法跡地所有の国柱会賽主・田中壮谷さんが「時熟しての落慶」と祝いの言葉を述べ、「ここから世界平和を発信していきたい」と挨拶した。

中川宗務総長は、「取得から12年、生誕800年の年についに御堂が完成し、万感胸に迫る思い」と述べ、建設に関わる人々に感謝を伝えた。そして、「日蓮聖人の少しおやつれになっている姿を見た」といい、「嵐の中で法華経を唱えていたのですから」と思いを馳せた。結びに「今日をスタートに、世界に向けての発信の地になりえることを確信する」と力をこめた。

建築家の椎名さんは、「象徴的な建物を創るようにと依頼を受け、若かりし日蓮聖人と時空を超えた対話ができる場所にと考えた。無事に完成して感無量」と肩の荷を下ろしていた。

鎌倉は日蓮聖人にとって関わりの深いところ。1222年(貞応元年)、安房国長狭郡東条郷片海(現在の千葉県鴨川市小湊)に生まれた日蓮は、12歳で天台宗の安房清澄寺に入寺し、16歳で出家して、短期の鎌倉滞在を経て、1242年、21歳のころに南都北嶺に遊学の旅に出た。十余年後、帰郷して1253年4月28日、清澄山の山頂から「南無妙法蓮華経」(お題目)と唱え、「法華経」への絶対的な帰依を宣言する。

やがて日蓮は幕府のあった鎌倉に出て、名越の松葉谷に庵室を構えて布教の拠点とした。

そして、鎌倉を襲った正嘉の大地震をはじめ、うちつづく大災害が起こる混乱の世を見据えて、1260年に『立正安国論』を著した。

1282年、身延山から常陸国(茨城県)へ向かう途中、武蔵国池上(東京都大田区)で入滅、度重なる法難をうけ、波瀾に満ちた61年の生涯を閉じた。

現在、日蓮宗の寺院は、国内5131カ寺、海外25カ寺で活動を展開し、その規模は日本の伝統仏教教団中5番目に位置付けられている。寺院以外で日蓮宗の布教施設が造られたのは今回が初めて。

当面、外から観覧のみで、一般公開は未定。

(右)身延山のご霊木で制作された日蓮像
(上)謝辞を述べる中川法政宗務総長

鎌倉日蓮堂　落慶法要＝12月9日

『鎌倉殿を歩く』発行

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」登場人物とゆかりの名所旧跡紹介

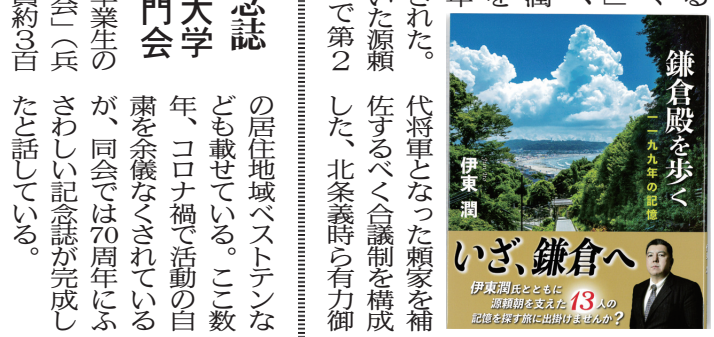
1月から始まるNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映に先立ち、歴史作家の伊東潤さん著『鎌倉殿を歩く 一一九九年の記憶』が出版された。

鎌倉幕府を開いた源頼朝の死後、18歳で第2代将軍となった頼家を補佐するべく合議制を構成した、北条義時ら有力御家人13人の足跡をたどり、それぞれにまつわる名所旧跡を紹介する。

昨年1月から12月まで神奈川新聞紙上で連載されたエッセーに加筆修正し、再編集した。

写真は、鎌倉朝日「鎌倉みほとけ紀行」の連載でもおなじみの古都写真家・原田寛さんが担当。大判カラー写真で、鎌倉に残る13人の御家人由縁の地を巡る。義時が建立させた覚園寺の佇まい、富士山を臨む桜満開の名越切通など鎌倉や、伊豆の国市などゆかりの地の四季折々の風景写真に心和む。

伊東さんは「13人の宿老ゆかりの地を散策し、彼らがどのような思いで武士の府を支えようとしていたかに思いを馳せてほしい」とあとがきに書いている。2420円(税込)、歴史探訪社刊。



70周年記念誌

早稲田大学鎌倉稲門会

早稲田大学の卒業生の団体「鎌倉稲門会」(兵藤芳朗会長・会員約3百人)が、昨年創立70周年を記念して『鎌倉稲門会創立70周年記念誌』を刊行した‖写真は兵頭会長。

同会は1950年(昭和25年)発足。「史跡めぐり」「女性の会」「サロン・ド・ワセダ」「留学生の招待」や、地引網、12の同好会の活動などで積極的に親睦の輪を広げている。

記念誌には、会報「笹リンドウ」に掲載している同会の歩み、70周年に寄せての60余人の多彩な会員からのメッセージほか、資料編に年表や会員の居住地域、ベストテンなども載せている。ここ数年、コロナ禍で活動の自粛を余儀なくされているが、同会では70周年にふさわしい記念誌が完成したと話している。

『あらかみさんぞう詩集 天人修羅畜生餓鬼地獄』

『あらかみさんぞう詩集 天人修羅畜生餓鬼地獄』が、昨年夏、幻冬舎から電子出版され話題を呼び、10月に印刷物の詩集も出版された。

「詩であり、ドキュメントであり、小説でもあります」と著者の荒井章さんは話す‖写真は大竹正芳作「崖の人」の絵の前で。

「あっちとこっち あの世とこの世 天界と地獄界。その間をイノチガケで往復し、人間の生と死の可能性を極めようとした凄い人間たちがいる。この詩集は その異様な智と勇気とエネルギーをもつ人間たちとの出会い『カイプツインタビュー』から生れたものだ」と書かれており、著者は円空、宮本武蔵、ジャンヌダルクになりきって詩を綴る。そして、「これを読んだらかならず電気が入るよ、火花が散るよ。これを『生の電源』として、アナタの日々につないでもらいたい」と詩集の中で呼びかけている。

荒井さんは、詩作、英詩翻訳ほか、現在、玉縄城址を守り伝える会の会長としてボランティア活動もしている。2200円(税込)、玉縄城址まちづくり会議☎0467・45・7411

6団体に助成金

NPO支援 かまくらファンド

鎌倉で活動するNPOを支援するための「かまくらファンド」の今年度の審査会が11月3日、たまなわ交流センターで開かれた。鎌倉市市民活動センター運営会議が2001年から募集しているファンドで、市民の寄付によるもの。11団体の応募があり、審査の結果、次の6団体に決まった。

「北鎌倉台峰緑地保全会」緑地保全活動の機器購入費。7万円。「かまくら認知症ネットワーク」講演会開催費。5万円。「スイートポテトの会」コミュニティースペース事業。7万円。「The Shonan Post」国際協力のための出版費。6万円。「十二所コミュニティ活性化グループ」わくわくサロン運営費。7万円。地域の居場所「さっちゃんち」掲示板作成費など。7万円。

あなたも自費出版しませんか
神奈川新聞社はあなたの本作りをお手伝いします。経験豊かな編集者、デザイナーが相談に乗り、大事な作品を一冊の本に仕上げます。どうぞお気軽にお問い合わせください。◎ご予算に合わせた本作りのご提案もできます。
相談・お見積もりは無料です。
自分史 エッセー 小説 詩集
郷土史 追悼集 写真集 絵本
企業や学校の記念誌
新聞作りのノウハウを生かした企画力、機動力でお応えします。
神奈川新聞社 出版メディア部
お問い合わせは、月～金曜(平日)の10時から18時
TEL 045-227-0745 FAX 045-227-0785

終の棲み家を考える ㉝

(値段は正直シリーズ〈開口部編〉)

家を建てる時、窓や扉などの様にするか考えると思います。アルミサッシの色も昔ながらのシルバーから茶色・黒・白とカラフルになり、選択の幅が広がっています。材質もアルミニウム単体からアルミと樹脂を組み合わせたアルミ樹脂複合サッシや、樹脂サッシまであり断熱性能が上がっています。またアルミではなく、木でできた木製サッシや扉もあります。木製の物は断熱性能に優れており意匠的にも非常に良いので、拘りのある人には人気です。外国製の木製サッシや扉は一部では知られていましたが、今は国産の木製サッシや扉も知られるようになっています。鍵や丁番等の金物類も国産の物で性能の良い物が開発されて外国製の金物にも負けないくらいの上質の物ができています。

ハウスメーカーや値段を抑えて安さを宣伝しているメーカーでは推奨されることは稀と思いますが、温熱環境を考え快適さを求める人には大事な部材です。

木製サッシや扉をペアのLow-Eタイプのガラスの開口部にしたら、家の中と外の環境が劇的に変わります。断熱材と開口部の仕様で家のグレードが決まるほどの違いがあります。値段の違いでは測れない明るく暖かい豊かな暮らしが手に入ります。

■日向建設 鎌倉市大船1-15-3
☎0467・47・5454
http://www.hyuuga.co.jp